

【さらに住民主体の産業文化祭に】



産業文化祭2008  
実行委員長  
佐藤公敏さん  
Satou Kimitoshi

今回の産業文化祭は、天候に恵まれ、多くの方にお越しいただきました。新しい企画などもたくさんあり、これまでと少し変わったイベントとして楽しんでもらえたと思います。しかし、出店ブースが分散していて、来場者に分かりにくかったなど反省点もありました。来年に向けた課題もいくつか見えてきましたので、検討していきたいと思えます。まだまだ役場の手も借りなければならぬ部分も多々ありますが、これからだんだんと、住民が主導し、住民が創り上げる産業文化祭へと発展していきたいと思っています。たくさんのご来場ありがとうございました。



エコロジックシャボン玉ショー  
地球温暖化に立ち向かうシャボン玉研究者が、実施するショー。ペットボトルや牛乳パック、チラシなどを「筒」として利用。唄や踊りに合わせてシャボン玉の楽しい実演を繰り広げ、来場者の興味をひいた。



手作りの竹馬で遊ぶ  
会場に用意されたたくさんのお年寄りたちが作ってくれたもの。手作りならではの温もりが感じられる竹馬だった。一日中、親子や兄弟で一緒になって遊んでいる姿が多く見られた。

「か」に気付くことから始まります。来場してくれた人たちが、そんな心を持ち帰ってくれたならうれしいです。

この竹馬は、地域のお年寄りに作ってもらったものです。おじいちゃんたちが作った竹馬で、親子が一緒に遊ぶなんて、とても素敵なこと。いろいろな人を巻き込んで、いろいろな人が参加した産業文化祭。これこそが「みんなが主役のふるさとづくり」のあり方だと思えます。来てくれたみんなの笑顔や元気な声は何よりうれしかったのを覚えていきます。

イベントを通して、また新たな人の輪が広がっていく。来場者が参加者に、やがて一緒に創り上げる仲間になっていくんです。そんな大勢で楽しめるイベントとして定着していけばなあと思っています。この町には「やってみよう・やってみよう」と思う人がたくさんいます。でも、何をやっていいのか分からないから手を挙げにくいだけ。わたしたちが率先して手を挙げることで、今後「一緒にやってみよう」と思う人が出てくることを願っています。

川根本町の自然環境を大切にしたいという気持ちを、この文化祭で表わしたいと思っています。北海道や九州、沖縄など迫力ある大自然には包み込んでくれるような大らかでやさしい自然があります。この自然を後の世代までずっと伝えていきたいから。産業文化祭のテーマを「明るく楽しいエコ」としました。天ぷら油の回収や、エコロジックシャボン玉ショーなど、環境にやさしい、環境と共生したイベントを目指しました。エコは一人一人が「何ができる」という心があったから、来場者の皆さんにもその心が伝わったのではないかと思います。ある人が帰り際にかけたくれた「楽しかったよ」という一言が何より心に残っています。

「産業文化祭は町民全員が主役になれる場所」と話す浜谷さん夫妻。役場主導ではない、本当の意味での「みんなが主役の産業文化祭」が、新たな一歩を踏み出した。



(有)ピースアンドフリー  
浜谷明彦さん・友子さん  
Hamatani Akihiko・Tomoko

浜谷明彦さん・友子さん  
2人の本業は明彦さんは建築業、友子さんは音楽教室の講師。家族ぐるみでイベントの企画や運営を楽しみたいと、(有)ピースアンドフリーを設立し各種イベントのプロデュースを手がける。本年度の産業文化祭の企画運営に参画。新しい催しも多く、来場者を楽しませた。

# 産業文化祭を

# 裏側から支える手

産業文化祭の各種催しは、実行委員会が実施するプレゼンテーションで決定したイベント会社が企画運営する。昨年まで町外の大手イベント会社が受注していたが、今年初めて浜谷さん夫妻(上長尾)の(有)ピースアンドフリーが受注。企画運営の中心を担った。長年実行委員として産業文化祭に関わってきた浜谷さん。その経験やノウハウを生かしたかったと話している。今年の産業文化祭の感想や今後の展望などを聞いた。

わたしたちは長年、実行委員として産業文化祭に関わってきました。また音楽教室の舞台発表などもさせてもらいました。そういった中で、ずっと疑問に感じていたのが「本町のことを何も知らない人が催しを企画運営する」ということでした。やはり自分たちの町の産業文化祭なんだから、自分たちが創り上げた。今度は自分たちが裏方に回り、産業文化祭を盛り上げたいと思ったんです。この催しを、どこにでもある「ありきたりなイベント」にしなかつたんです。

川根本町の自然環境を大切にしたいという気持ちを、この文化祭で表わしたいと思っています。北海道や九州、沖縄など迫力ある大自然には包み込んでくれるような大らかでやさしい自然があります。この自然を後の世代までずっと伝えていきたいから。産業文化祭のテーマを「明るく楽しいエコ」としました。天ぷら油の回収や、エコロジックシャボン玉ショーなど、環境にやさしい、環境と共生したイベントを目指しました。エコは一人一人が「何ができる」という心があったから、来場者の皆さんにもその心が伝わったのではないかと思います。ある人が帰り際にかけたくれた「楽しかったよ」という一言が何より心に残っています。



産業文化祭を裏側から支えたスタッフの皆さん  
前列左から▶板谷隆輝さん、浜谷友子さん、浜谷明彦さん、梶原俊介さん 後列左から▶落合真由美さん、原亜沙美さん、榊原さつきさん、鈴木淳二さん  
舞台設営や当日の進行など、イベント全般で活躍してくれた有志の皆さん。「この人たちの協力があってこそ」と浜谷さんは話していました。